

■ 日本港湾協会企画賞を受賞した 12 フィートコンテナでの小口輸送の取組

室蘭市 港湾部 港湾政策課

去る5月24日、神戸市内で開催されました日本港湾協会の第90回定時総会の場において、室蘭市が取り組んでいる12フィートコンテナを活用した鉄道貨物と国際海上輸送を連携させる事業が、同協会の企画賞を受賞いたしました。

今回の受賞にあたっては、北海道開発局の推薦をいただきましたが、この取組が、我が国において農水産品の輸出促進への貢献だけでなく、ドライバー不足問題や地球温暖化対策への対応が評価をいただいたところ です。

室蘭港は、コンテナヤードのある崎守多目的国際ターミナルの近くまでJRの引込線が伸びているのが特徴となっており、鉄道輸送と海上輸送の一貫した輸送が比較的容易にできるというメリットがあります。

また、室蘭市の立地として、胆振、後志地区という北海道内でも農業及び水産業の盛んな地域を後背地として抱えているという恵まれた地理的な優位性を生かしながら、海外において知名度が高くなっている北海道産の農水産品や加工品の輸出を促進するため、道産食品への人気が高まっている東南アジア、とりわけタ

イに着目をしたところ です。

平成27年度には、室蘭からタイ、タイから室蘭、相互の12フィートコンテナによる海上輸送実験を行い、また、現地において「室蘭港ポートセミナー」、「12フィートコンテナ見学会」を開催し、現地の荷主や商社など、多数の方々の出席をいただきました。

参加者のなかには、すぐにでも利用したいという非常に前向きな意見もあるなど、タイ現地においても、12フィートコンテナを利用した小口での国際海上輸送のニーズがあることを実感しました。

しかしながら、本取組をさらに推進するためには、リーファーコンテナの電圧の問題によるコンテナの改良や、タイから北海道へ輸入する貨物、いわゆる帰り荷の問題があること等、様々な課題も判明しております。

この日本港湾協会企画賞の受賞を機に、それら課題の解決に向けた取組として、国内はもちろんのこと、タイ現地における企業や関係機関への訪問を継続的に行うなど、今後も12フィートコンテナによる鉄道輸送と海上輸送の一環した輸送の取組を進めてまいりたいと考えております。



崎守多目的国際ターミナル



室蘭港ポートセミナー



市長記念写真



受賞式